

演題発表プログラム

午前 一般演題 口述発表

セッション1 整形外科疾患・ハンドセラピー 11:00～12:00(講義棟 1 階中講義室112)
座長:水戸済生会総合病院 片岡 信宏

- 1 Useful handの獲得を目指し関節可動域制限予防とつまみ動作に着目した症例
筑波メディカルセンター病院 羽鳥 詩乃
- 2 価値ある作業の経験から自己能力の認識と展望を深め在宅復帰に至った事例
つくばセントラル病院 角田 真悠
- 3 肩関節の機能改善によりセルフケアが自立した症例
住吉クリニック病院 菅沼 美幸
- 4 手指屈筋腱癒着に対して剥離術後の目標設定に難渋した症例
～患者からの主訴を見逃さないように～
筑波大学附属病院 小島 莉奈
- 5 左示指伸筋腱縫合術後, 関節拘縮を呈した症例に対して可動域拡大に向けた介入
つくばメディカルセンター病院 山田 明日香
- 6 物品把持・つまみ時の手の遠位横アーチ各成分の可動範囲(使用)率について
茨城県立医療大学 白石 英樹

セッション2 セルフケア(ADL、IADL、家屋改造を含む) 11:00～12:00(講義棟4階141)
座長 ひたちなか総合病院 大城 竜邦

- 7 目標を共有することで作業遂行に改善が見られた一事例
牛久愛和総合病院 綿引 柊斗
- 8 多職種で連携し, 早期からの家族指導を行い在宅復帰が実現した重度脳卒中の事例
社会医療法人若竹会 つくばセントラル病院 諸橋 花美
- 9 退院後の生活像を本人・家族と共有することで, 自宅での家事動作再開につながった事例
茨城北西総合リハビリテーションセンター 村上 茉耶
- 10 退所前訪問で課題を具体化し, 1 年ぶりの在宅復帰を果たした事例
つくばセントラル病院 結束 真帆
- 11 独居生活の継続により QOL 向上を認めた症例 ～移乗動作自立に向けた介入～
医療法人仁寿会 総和中央病院
渡辺 あみ

セッション3 援助機器・サービス・環境 11:00～12:00(講義棟4階143)

座長:つくば市福祉支援センターさくら 細田 忠博

- 12 片手用キーボードの技能習得におけるパフォーマンスおよび視線計測:健常者における予備的検証

茨城県立医療大学 保健医療学部 作業療法学科 長嶺 颯汰

- 13 より使いやすいソックスエイドの形状とは ～新モデルの開発に向けて～

茨城県立医療大学 保健医療学部 作業療法学科 土山 慶

- 14 3D プリンタを用いた種まき自助具の考案 ～模擬事例での検討～

茨城県立医療大学 保健医療学部 作業療法学科 濱田 大暉

- 15 生きる希望、生きる力につながる「絵画」を続けていくために

ゆりかご☆ナース 後藤 理子

- 16 支援機器・自助具等作製に関しての実技研修の取り組み(その2)

スイッチ作製における基本事項の習得

訪問看護ステーションこづる 楠木 邦弘

- 17 自助具導入により自ら代償手段にて書字動作を獲得した一事例

土浦リハビリテーション病院 成田 結香

セッション4 作業全般・治療的作業 11:00～12:00(講義棟3階135)

座長:茨城県立医療大学 保健医療学部作業療法学科 高崎 友香

- 18 医療現場におけるLGBTQに関する当事者への取り組みと課題について

～作業療法の視点から～

茨城県立医療大学保健医療学部作業療法学科 宮下 春花

- 19 プラネタリウムを活用した孤立支援に関する文献レビュー

～作業療法士による社会的処方プログラムの開発に向けて～

茨城県立医療大学保健医療学部作業療法学科 秋山 星悟

- 20 作業従事することで他者との交流に繋がった高次脳機能障害の一事例

医療法人 三星会 茨城リハビリテーション病院 関根 愛実

- 21 外来脳卒中患者への20分の Cognitive Oriented to daily Occupational Performance (CO-OP)を用いた入浴支援に関する報告

茨城県立医療大学 木口 尚人

- 22 作業に焦点を当てた介入により変化がみられた筋萎縮性側索硬化症と転移性肝癌を併発している女性との関わり

医療法人 清真会 丹野病院 飯田 梨沙

- 23 作業活動を通して能動的に変化した症例

～全介助から自立.そして役割獲得へ～

立川記念病院 石川 実歩

セッション5 発達・余暇活動 11:00～12:00(講義棟 3 階136)

座長:茨城西南医療センター病院 根本 浩則

24 自主練習にてビジョントレーニングを継続した児の WAVES の経時的変化

JA とりで総合医療センター 深津 英未

25 楽しい遊びを共有し、要求の手段が変化した症例～「叩く」から「タッチ」へ～

茨城西南医療センター病院 佐藤 多絵子

26 不適切行動に対する“主体的な学び”に着目し、集団適応を目指した症例

児童発達支援事業所はなもも 鈴木 綺乃

27 障がい児の外出支援に関する一考察

～特別支援学校に通う児童の保護者へのアンケート調査から～

茨城西南医療センター病院 市川 莉沙

28 5歳児における運動能力の差が遊び方に与える影響

プルメリア訪問介護株式会社 齋藤 倫明

午後

一般演題 口述発表

セッション6 フレイル・MTDLP・国際交流 13:15～14:15(講義棟1階 中講義室112)

座長:国際医療福祉大学 成田保健医療学部作業療法学科 笥 智裕

29 地域在住高齢者の栄養素摂取量とサルコペニア診断基準項目との関連

茨城県立医療大学 若山 修一

30 うっ血性心不全にて短期間での再入院となり日中の活動量が低下していた症例

～再入院の予防を見据えて～

茨城西南医療センター病院 南澤 友香

31 身体機能に合わせた環境調節により、食事の自力摂取が可能となった事例

牛久愛和総合病院 栗山 流華

32 生活行為向上マネジメントを用いて目標を具体化し、家庭内役割の再獲得に至った事例

社会医療法人若竹会介護老人保健施設ゆうあい 小風 明日香

33 茨城県立医療大学作業療法学科による国際交流の歩み

茨城県立医療大学 ドンウェンリン

セッション 7 セルフケア(ADL、IADL、家屋改造を含む) 13:15~14:15(講義棟4階141)

座長 牛久愛和総合病院 田口 功隼

34 段階付けした座位練習を繰り返し行う事で更衣動作定着へ繋げた症例

志村大宮病院 茨城北西総合リハビリテーションセンター 小河 千明

35 自宅退院に向けて家事動作の再獲得に至った症例

医療法人 仁寿会 総和中央病院 鬼澤 実那

36 入浴,調理動作への介入や家族指導を行った結果,自立度向上や動作に関する本人・家族の理解が得られた事例

茨城北西総合リハビリテーションセンター 山本 知歩

37 外出時のパッド管理が可能となり QOL の向上に繋がった事例

筑波記念病院 寺田 千夏

38 複数の内部障害を合併する若年成人透析患者の在宅復帰支援

～回復期リハビリテーション病棟での1事例～

社会医療法人若竹会つくばセントラル病院 小山 貴士

セッション8 認知機能(高次脳機能障害を含む) 13:15~14:15(講義棟4階143)

座長 牛久愛和総合病院 夏加 孝明

39 医療系学生における高次脳機能障害の認知度の実態調査

茨城県立医療大学保健医療学部作業療法学科 澤田 優衣

40 BADS の動物園地図検査の平行性検査の開発ー若年成人における検討ー

茨城県立医療大学保健医療学部作業療法学科 原 楓

41 病棟との連携により精神面の安定が得られ ADL が改善された症例

～本人が理想とする食事に近づけた関わり～

医療法人社団 青洲会 神立病院 清 夢実

42 高次脳機能障害を呈した症例に対して家族支援や外来リハビリを通して料理を作るという

家庭内役割の再獲得した事例

筑波メディカルセンター病院 大平 羽津奈

43 半側空間無視モデル動物の確立とその臨床的意義

茨城県立医療大学 石井 大典

セッション 9 中枢性疾患(脳血管疾患) 13:15～14:15(講義棟3階135)

座長:茨城北西総合リハビリテーションセンター 小野瀬 剛広

44 右視床出血により重度の運動麻痺と感覚障害を呈した症例

～麻痺側の自己身体認知の低下に着目して～

茨城西南医療センター病院 猪瀬 智久

45 課題指向型アプローチにて介入し、トランスファーパッケージを併用したことで更衣自立に

至った一症例

土浦リハビリテーション病院 藤谷 涼平

46 Transfer Package の重要性～CI 療法を活用し上肢機能の改善がみられた事例～

医療法人健佑会 いちはら病院 リハビリテーション療法科 加藤 貴大

47 右脳梗塞により左片麻痺を呈した症例 ～家事動作再開に着目して～

龍ヶ崎済生会病院 平松 りな

48 右片麻痺を呈し、食事動作に不満がみられた症例 ～実際場面での食事動作練習を通して～

社会医療法人社団 古宿会 水戸中央病院 渡久地 美月

セッション10 心理・対人関係・コミュニケーション 13:15～14:15(講義棟 3 階136)

座長:作業療法研究所 すばる工房 塩原 直美

49 COVID-19 の感染拡大後における大学生の学生間交流に対する満足感と問題点の検証

～大学内での新たな交流場の創造に向けて～

茨城県立医療大学保健医療学部作業療法学科 芝 竜之介

50 せん妄改善後も不安・抑うつが強く、トイレ動作獲得に難渋した症例

総合病院 土浦協同病院 橋本 紳也

51 介助依存が強い患者に対し多職種連携が奏功した一事例

筑波記念病院 福嶋 美玖

52 長期入院の重度身体障害者に対する一実践

～活動・参加に注目して～

社会医療法人財団 古宿会 水戸中央病院 木村 理香子

53 入院中に家族との関わりを提供したことで、不穏行動が軽減し自宅退院へ至った一事例

土浦リハビリテーション病院 中根 智美